

すへし

二 双務契約解除の法廷要件を説明すへし

民事訴訟法

一 主参加訴訟の意義及要件を説明し本訴訟との関係に論及すへし

二 証書の検真に付き説明すへし

刑法

一 行為の違法性に関する錯誤及ひ違法阻却の原因たる事実に関する錯誤と犯意との関係を説明すへし

二 不動産は窃盗罪及ひ詐欺罪の目的物と為るや

刑事訴訟法

一 現行法上刑罰を科する手続を説明すへし

二 刑の時効完成したる後故障を申立つることを得るや

商法

一 保険契約者の告知義務を説明し民法の詐欺及錯誤に関する規定との関係に論及すへし

二 償還を無したる手形裏書人の法律上の地位を説明すへし

国際私法

一 国際私法的法規に依り適用すへき法律は国内法なりとの学説の当否を論評すへし

二 養子縁組の要件に関する準拠法を説明すへし

国際公法

一 条約消滅の原因を説明すへし

二 船舶敵性を論すへし

687 判検事弁護士試験問題

〔『法学新報』第32巻1(361)号 大正11年1月1日〕

○判検事弁護士試験問題 大正十年度第二次判検事弁護士試験問題左の如し

○判検事の部

民法

一 甲所有の不動産に付き甲乙丙間に順次売買契約行はれたるに拘はらず甲丙は其の間に売買契約行はれたるか如く詐称して所有権移転の登記申請手続を為すへきことを契約して之に同意したりと云ふ甲丙間の契約の効力如何理由を附して説明

憲法

一 我国史と憲法の関係を略述すへし

二 司法権と行政裁判権との異なる特質を説明すへし

行政法

一 司法行政の組織及び監督を説明すへし

二 官吏の職務行為より生ずる賠償責任を論ぜよ

○弁護士の一部

民法

一 債務の履行に代る損害賠償請求権の時効を説明すへし

二 被廢除者の直系卑属の家督相続権を説明すへし

一 時効の援用は如何なる意義及効力を有するか

二 使用者か被用者の行為に因りて損害賠償の責に任すへき場合を説明すへし

民事訴訟法

一 留保判決の意義及効力を説明すへし

二 証人能力を説明すへし

一 自白の意義及効力を説明すへし

二 控訴と附帯控訴との異同を説明すへし

刑法

一 左の場合に於て緊急防衛をなす事を得るや

イ 財を得て逃走せんとする窃盗犯人あるとき

ロ 住居主の要求を受け退去せざる不法侵入者のあるとき

二 偽証罪の主体を論ず

一 従犯及其教唆を説明し此等の者を幫助したる者の責任を説

明すへし

二 放火罪の本質を説明すへし

商法

一 白紙委任状附株式譲渡の効力を論ず

二 為替手形振出人の義務を説明して振出人か手形上の責任を負はざる旨を記載したる為替手形の効力に論及すへし

一 旅客に対する運送人の責任を説明すへし

二 手形保証の効力を説明すへし

国際私法

一 契約の成立及効力の準拠法を説明すへし

二 離婚の準拠法を説明すへし

国際公法

一 領事官の職務を説明すへし

二 局外中立国の権利義務を略説すへし

憲法

一 緊急勅令の意義及効力を説明すへし

二 枢密顧問の憲法上の地位を論ずへし

行政法

一 行政処分の性質及効力を説明すへし

二 公民権を説明すへし

刑事訴訟法

一 直接審理主義を論評すへし

二 裁判の本質及種類を説明すへし

一 裁判の本質及種類を説明すへし